

## 意見交換会の開催結果について（森孝中プロックの小・中学生及び未就学児の保護者の皆様）

- ・令和7年10月14日(火)、18日(土)、19日(日)に本地丘小・森孝東小・森孝西小及び森孝中の保護者の方、未就学児の保護者の方及び地域の方を対象とした「本地丘小学校・森孝東小学校・森孝西小学校の統合及び森孝中学校との併設(案)に関する意見交換会」を開催しました。
- ・意見交換会でいただいたご意見等とそれに対する教育委員会の考え方をまとめました。
- ・内容について、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、ご意見を一部要約し、また分割して掲載しておりますのでご了承ください。
- ・なお、下記①～⑦の項目は、意見交換会説明資料の項目と関連付けていますので、意見交換会説明資料と併せてご覧ください。

1回目：令和7年10月14日(火)19:00～20:20 本地丘コミュニティプラザ ふれんず …参加人数：19名

2回目：令和7年10月18日(土)14:00～15:00 森孝西小 体育館 …参加人数：21名

3回目：令和7年10月19日(日)10:00～11:40 森孝東小 体育館 …参加人数：61名

区分		お立場					
学区	未就学児 保護者	小学生 保護者	中学生 保護者	(うち重複)	地域住民	合計	
	本地丘小	1	4	0	(0)	10	15
	森孝東小	17	15	1	(5)	41	69
	森孝西小	6	2	0	(0)	9	17
	合計	24	21	1	(5)	60	101

### ① なぜ3小学校を統合するのかについて

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	○森孝東小と森孝西小は、本地丘小ほど極端に人数が少なくなっていないから、統合しなくても今まで通り進めていけると思います。いずれ中学校になったら3小学校の子どもは一緒になるので、まずは、本地丘小と森孝東小を統合して、その様子を見て判断した方がよいと思います。子どもの人数が増えたらそれ以上の統合を進めなくともよいし、本当に減った場合は、その時に小学校と	教育委員会としては、子どもたちが、多様な考えにふれ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することが大切であり、その教育効果を十分に上げるためにには、一定の集団規模が必要です。そのため、いずれも小規模校の状態が続いている3小学校の統合を早急に進めていきたいと考えています。仮に本地丘小と森孝東小だけを統合しても、小規模の状態を解消することができず、望ましい学級規模とはなりません。 小規模校には、「学校行事で活動の場を与えやすい」、「一人ひとりの子ども

	<p>中学校をどのように統合するのか検討するような長い見通しで考えていただきたいです。</p> <p>○まずは、本地丘小と森孝東小が統合して森孝中の場所へ通学し、うまく進んでいるようであれば森孝西小も統合していく方がよいのではないかと思います。</p> <p>○計画がスムーズに進んだとして、令和10年に本地丘小と森孝東小が統合される計画となっていますが、その2校の統合はすぐにでも行うべきだと思います。</p> <p>○卒業生に聞くと、「小学校が一番楽しかった」「友達もみんな分かっていて先生との距離も近かった」と話していて、本地丘小と森孝東小の統合なら理解できると思うけれども、ここまで大きく再編する必要があるのでしょうか。</p> <p>○クラス替えができることがより良い教育だという教育的な根拠は示されていません。</p>	<p>にきめの細かい指導がしやすい」といったよさがありますが、その一方で、「クラス替えができないことにより人間関係の固定化が生じやすい」、「体育の球技などの集団学習、班活動やグループ分けなどに制約が生じる」、また、「指導上課題がある子どもの行動にクラス全体が影響を受けやすくなる」等といった課題があります。</p> <p>本市では学びのコンパスに基づき、個別最適化、協働的な学びということを中心に、個人で興味がある事を学んでいく一方で、たくさんの仲間と一緒に意見を交わし合うということも大切にしています。</p> <p>授業において、児童一人ひとりの実態に応じた少人数指導を実施しており、良い結果が出ていることが確認されているところです。</p> <p>少人数指導をはじめ様々な指導の充実策を進める一方で、統合により、クラス替えのできる望ましい学校規模を確保し、子どもたちがこれまでよりも多くの考え方や価値観に出会い、社会性や協調性を伸ばす機会をつくることは早急に取り組むべき課題であると考えています。</p>
2	<p>○学校づくりだけを先行するのではなく、人口が増えるようなまちづくりの展望を併せて考えないといけないと思いますので、そのまちづくりの展望も教えてください。</p> <p>○本地丘学区は、市営住宅がほとんどを占める地域ですが、所管部署に対して、住宅政策をしてほしいなどの働きかけは行われたのでしょうか。</p>	<p>まちづくりについては、現時点での地域に関する個別の具体的な計画はありませんが、関係部署とは情報提供をしながら進めています。</p> <p>また、市営住宅を所管している部署からは、現時点で本地荘の更新等の具体的な計画はなく検討段階であると聞いています。併せて、市営住宅の更新等に学校の有無は影響しないものと聞いています。</p> <p>教育委員会としても、市営住宅を所管している部署に対し、市営住宅を更新していただくよう要望しているところです。</p>
3	<p>○6～15年後も小規模化の傾向であることが個別プラン作成の要件になっていると思いますので、その辺りの推計について具体的に教えてください。また、高齢者の方と子育て世代との入れ替わりも含めて推計されているのでしょうか。</p>	<p>中長期的な将来推計としては、令和2年度の国勢調査の結果を基に、生存率、出生率、移動率等を加味して、将来児童数を計算しています。</p> <p>推計上、6～15年後の児童数はほぼ横ばいの傾向であり、3小学校とも依然として適正規模にはならず小規模化の傾向が継続していることを踏まえて、統合の対象校であると考えています。</p>

統合の対象校から外した場合、小規模で各学年1クラスの状況が継続していくことになってしまいますので、子どもたちの教育環境を改善するため、ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画の目的に沿って、3小学校の統合を進めていきたいと考えています。

#### 森孝中ブロックの将来推計

	R7	R10	R13	R14	R16	R19	R22
本地丘小	82	52	33	34	36	37	38
森孝東小	158	152	149	149	149	154	158
森孝西小	211	200	196	200	208	215	220
3校計	451	404	378	383	393	406	416

※児童数はR2年の国勢調査の結果を基にしているため、R13までの推計値との誤差があります。

## ② どこの場所で3小学校を統合するのがいいのかについて

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	○通学距離の目安の2kmについての根拠が全く示されていません。いつ2kmという基準にしたのでしょうか。その基準が決められた頃と比べて、日本の気象がどれだけ変わったのかについて、どのくらい考慮されたのですか。	国では、学校を適正な規模にするための統合における通学距離の基準として、概ね小学校が4km、中学校が6kmと規定されていますが、本市においては概ね小学校が2km、中学校が3kmを目安としています。この距離だと小学校低学年の子で40~45分くらいかかると思われますが、通学時間が長くなり過ぎないよう努めているところです。通学距離が長くなることで、熱中症や交通安全などへのご心配のお気持ちちは理解しておりますが、他の統合プランでもこの基準で計画を策定しています。また、名古屋市全体でも同様に2km近く又は2kmを超えて歩いている子どもがいる学校もあります。 しかし当然ながら、統合前と比べると通学距離が伸びることもあり、また、昨今の気象状況によって猛暑日を記録する日が増えている中、熱中症に対するご心配がより強くなることはもっともだと思いますので、安心して通学していただけるよう、他校で行っている対策や他都市の状況等も参考にしながら検討していきます。

2	<p>○通学距離の 2.2km は四捨五入すると 2 km になります。そう考えると森孝東小の場所に 3 小学校を統合した方が良いのではないかでしょうか。</p> <p>○この統合計画は、本地丘小と森孝東小については、当たり前ですが、全ての児童にとって登校距離が増えることになります。どれだけ増えるかというとバスの 1 区分。それだけ環境が悪くなります。</p>	<p>お住まいの場所によって、通学距離が伸びることもありますが、教育委員会としては、新しい学校をつくっていく際に、あえて通学の負担が著しく大きくなる子どもが出ないようにしたいと考えており、3 小学校の通学区域の概ね中央に位置し、すべての学校の子どもたちにとって 2 km 以内となる森孝中の場所に、併設校を整備することが適切だと考えています。</p>
3	<p>○通学路は、最終的には学校で決めるということですが、もし通学距離が 2 km を超えた場合は、教育委員会として許可するのですか。</p> <p>○白山二丁目東端から中学校まで歩いてみましたが、私の足で約 2,750 歩あり、換算すると 2.1km。本地丘小学校区の端からはさらに長くなると思います。</p>	<p>森孝中の場所に小学校と中学校を併設した場合の、現在の通学路を元にした想定では、2 km を超える地域は存在しないと考えています。</p>

### ③ 森孝中の場所で小学校を統合するなら、森孝中はどうなるのかについて

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	<p>○森孝中の敷地面積が狭い上に、わざわざ 3 小学校と中学校を詰め込んでしまうことで、今より教育条件が悪くなってしまうことを考えているのかと疑問に思っています。</p> <p>○あの狭い中学校に 500 人の子ども達が詰め込まれることになるのは無理だと思います。一人当たりの校地面積は 76 m<sup>2</sup>から 19.8 m<sup>2</sup>と約 1/4 になるという窮屈さで、とても良好な教育環境になるとは思えません。</p>	<p>校舎については、教室等を階層別に低層階の 1・2 階は小学生、高層階の 3・4 階は中学生が主に使用する教室を配置し、昇降口を別々にするなど、日常生活で子どもたちが接触する機会があまりないような設計を検討していきます。また、体育館についても、中学校用と小学校用兼格技場を整備するよう検討していきます。図書室など共通で使うことを想定している施設については、使い方について学校の中でルールを決めたり、一緒に使う場面では教員が立ち会ったりするなどの工夫により対応したいと考えています。</p> <p>一人当たりの校地面積については、令和 7 年度の森孝中で中学生一人当たり約 73 m<sup>2</sup>、令和 13 年度の小中学生数での一人当たり校地面積の試算では、現森孝中校地では約 35 m<sup>2</sup>、サブグランドを含めると約 47 m<sup>2</sup>となり、全市の平均程度となっています。現状 3 小学校は比較的、運動場に対して子どもの数が少ない状態であると考えています。</p>
2	○体育の授業などができるか大変疑問です。イメージ図	子どもたちが学校で生活する時間で運動場を使うのは、体育の時間、休み時

	<p>では 100m直線コースや 200mトラックが十分とれるように描いてありますが、無理があるのではないかと思います。</p>	<p>間、授業後の部活動の時間があります。</p> <p>まず、体育の時間については、教員の管理下で行われ、また、小学校と中学校とで時間割で分けながら実施していくことが想定されます。実際に、大きな規模の学校は、運動場を 2・3 クラスで分けることや、2 クラス合同で授業を実施することもあると思いますので、今回の併設校の学級数でも可能であると考えています。</p> <p>次に、休み時間については、中学校は、昼放課以外は運動場に出て遊ぶことは基本的にはないのが現状です。遊ぶのは昼放課だけなので、その時間帯を上手く分けることを考えれば、運用できると見込んでいます。</p> <p>最後に、部活動については、小学校の新しい運動文化活動は併設校の運動場で行うことを想定しています。中学校は種目によって運動場を分けながら行っているのが実情です。小学校の活動と中学校の運動部とで運動場をうまく分けながら使用し、加えて中学校の部活動はサブグラウンドも活用することで、十分なスペースで活動できると考えています。</p> <p>なお、イメージ図の通り、200m トラックや 100m コースも確保できると考えています。</p>
3	<p>○森孝東小の運動場をサブグラウンドにする件について、どのように使う予定なのか具体的に教えてください。授業間で移動するのは距離がありすぎると思いますし、移動の間の交通の状況への配慮はどのようにになっているのでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおり、併設校の敷地とサブグラウンドの間を往復するための必要時間や、移動時の安全も配慮する必要があると考えているため、サブグラウンドについては、主に中学生の部活動で使用することを想定しています。また、サブグラウンドへの移動時の安全対策については、通学路の安全対策とも併せて検討していきたいと考えています。</p>
4	<p>○森孝東小の敷地は、今の校舎の場所を含めて今後も併設校の敷地として使われるのでしょうか。他の目的で使われることはないということでしょうか。</p>	<p>現状の森孝東小の敷地のうち、北側の森や観察池などを含めた運動場については、新しい併設校の敷地として、教育委員会が管理することになると考えています。運動場以外の校舎や体育館がある場所などの敷地については、防災拠点等、地域に必要な機能に配慮しながら、資産の有効活用を全市的な視点で検討することとなっています。</p>
5	<p>○サブグラウンドを使う時に教員はどれくらい配置されるのでしょうか。また、サブグラウンドには救護施設や職員控室、用具室など、一部校舎のようなものはあるのでしょうか。</p>	<p>サブグラウンドでの部活動は、担当する顧問が引率し指導することを考えています。</p> <p>救護室や用具室などの付帯施設については検討中の段階ですが、必要であると考えています。特にけがや事故への対応の方法なども含め、部活動を所管している部署と相談しながら検討していきたいと考えています。</p>

6	<p>○森孝中の場所で3小学校と中学校と一緒にした場合には、運動場の国の基準面積等は満たしているという回答を以前にいただきました。にもかかわらず、中学校だけを森孝東小の場所で運営したらどうかと我々が提案した際には、森孝東小の場所は中学校の運営には狭いと説明されました。それはなぜですか。</p> <p>そうであれば、現在の森孝中の敷地をフェンス等で区切って、小学校と中学校で別々に使用にすれば、小学校1年生から中学校3年生まで一緒に生活をすることに伴うリスクは全て解消するのではないか。</p>	<p>中学校の教育活動において、体育の授業や体育祭等ができるだけ現在と同様に行なうためには、運動場の200mトラックや100mコースの確保、格技施設などの確保が必要であると考えています。イメージ図にありますように森孝中の敷地では確保が可能ですが、森孝東小の敷地では、200mトラックや100mコースの確保が難しいことに加え、格技施設などを新たに必要とするため、十分な面積を確保できないと考えています。</p> <p>なお、校舎については、小学生と中学生が同じ校舎で生活を行うことになりますので、教室の配置を工夫するなど、他都市の状況も調査しながら、安全面などに十分配慮した設計を検討していきます。</p>
---	---	--

#### ④ 小中併設になると、どんな課題や利点があるのかについて

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	<p>○体格が大きく違う小学校低学年と中学生が同じ校舎で生活するという面が、一番心配になります。中学生は高校受験があり、思春期でもあるということで、最も精神的に不安定になると思います。そこに小学生と一緒に生活することは大変難しいことだと思います。生活区域をしっかりと分けるという説明でしたが、漠然としか分からず、そこまで配慮できるのか心配です。</p> <p>○小学生の放課の運動場の時間を制限して思い切り遊べなかったり、中学校は授業やテストもあるのでその声を気にしたりすることがあるかもしれません。お互いに気になりストレスを抱えることが多くなると思います。クラス替えが無いことよりも、今回の統合で生じる可能性のあるストレスの方が大きくて、小中学校を併設することは全く当事者のことを考えていない、と卒業生は言っていました。</p> <p>○子どもたちの学校生活に制限がたくさんあると思いま</p>	<p>校舎については、教室等を階層別に低層階の1・2階は小学生、高層階の3・4階は中学生が主に使用する教室を配置し、昇降口を別々にするなど、日常生活で子どもたちが接触する機会があまりないような設計を検討していきます。</p> <p>また、体育館についても、中学校用と小学校用兼格技場を整備するよう検討していきます。図書室など共通で使うことを想定している施設については、使い方について学校の中でルールを決めたり、一緒に使う場面では教員が立ち会ったりするなどの工夫により対応したいと考えています。</p> <p>運動場については、現状3小学校は比較的、運動場に対して子どもの数が少ない状態なので、併設校でこの広さがあれば、300人前後の小学生が遊ぶことについて、危険があったり不足であったりするとは考えていません。</p> <p>なお、規模感は確かに異なりますが、 笹島小中学校では、小学生と中学生が毎日一緒に生活しています。学校が出来てから15年経っていますが、今のところ、小学生と中学生によるトラブルは、大小に関わらず聞いていません。階層をしっかりと分けているうえに、用事が無い時には互いの階層には行かないというルールを徹底していると聞いており、声がうるさいという意見も聞かれないとのことです。</p> <p>ただ、小中学校を併設することで、子どもたちの学校生活にストレスや負担とならないよう、十分に配慮しながら検討していきます。</p>

	す。制限が多くある中で行う教育が本当によりよい教育環境なのでしょうか。	
2	○小学校では給食の時間などに音楽を流していて、そのような活動が小学校らしいと思います。中学生と一緒になった場合に、音楽がうるさいとか、音量を下げる、小学生が静かに過ごすような指導となっていくのは良いなと思うので、分け方を考えもらいたいです。	笹島小中学校をはじめ小中学校が同じ敷地内で生活している例も研究させていただき、子どもたちの楽しみがなくならないよう検討します。
3	○小学校と中学校では校則や規則が違う部分があると思いますが、統合されると、どういった方向性になると想定されているのでしょうか。	統合決定後に、学校同士で約2年間かけて新しいルールを作っていくことになり、最終的には学校が決めることになります。中学校は併設校となっても学校としては変わらないので、引き続き同じ校則になるのだろうと想定しています。小学校は3小学校が1つの学校になるので、3つの学校と定期的に協議し、詳細まで決めていくことになります。

## ⑤ 新しい学校のイメージについて

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	○森孝東学区から森孝中の場所に通学するとなると、小学校1年生や不登校の子達が通いたくなるのですか。特別支援学級の子どもたちは安心して通えるのですか。	<p>新しい学校でも同様に特別支援学級をしっかりと整備していきます。また、福祉都市環境整備指針等によりエレベータやスロープを設置するなど、支援が必要な子どもたちが安心して通えるような校舎を造っていきたいと考えています。</p> <p>また、これまでの統合校の取り組みでは、普通教室の横に、子どもたちがグループ学習や個人学習ができるようにスペースを設けたり、休み時間に他のクラスの子どもと交流ができるスペースをつくったりしています。さらに、図書室を広くするという例もあります。これらの事例を参考にしながら新しい学びの場所や環境をしっかりと確保して通いたくなる学校となるように検討していきたいと考えています。</p>
2	○イメージ図を見ると、遊具がありません。観察池もないでの、虫の観察をはじめとした生活科の授業を行う場所が見当たりません。どちらかというと中学生向けの建物という印象で、小学生が通いたいと思わない無機質な学校に見えます。小学校らしさと中学校らしさをもう少し描いていただけるとよいと思います。	<p>実際には、小学校低学年の授業の内容として、ぶら下がる運動、体を支える運動、体を回転させる運動などがありますので、必要な遊具は配置していきます。イメージ図への反映については、ご意見として承ります。</p> <p>観察池は必ず設置するべきものではないので、学校と相談して検討していくものとなります。また、教材園は小学校低学年の生活科や高学年の理科などで使うために必要なものですので、この敷地の中に配置していく予定です。</p>

## ⑥ 通学の安全はどう考えているのかについて

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	○「統合の前年度までに」とありますが、これは令和9年度のことでしょうか。	令和9年度までに、森孝東小の子が本地丘小の場所へ通うための通学路について、森孝東小の保護者や地域の方々にもご意見をお聞きしながら検討し、最終的には学校が決めていきます。 令和14年度から森孝中の場所に建設した新しい学校へ通っていただくことになりますが、そのための通学路についても、令和9年度までの話し合いの中で、併せて検討していく予定です。歩行者用信号や横断歩道の設置が必要だということであれば、令和13年度までに整備をしていくことができるよう、保護者や地域の方々にもご意見をお聞きしながら検討を行っていく予定です。
2	○昨今の酷暑を見ると、来年になればさらに暑い状況になることが予想されます、特に本地丘学区から森孝中の場所へ通学するのは、現在より距離が伸びて本当に危険であるだけでなく、交通安全の面でも本当に問題だと思うので、避けなければならないと考えています。  ○3学区は東西に長く、3小学校の統合は無理だと思います。35℃を超える最近の酷暑の気候で6・7歳の子どもたちには大変辛い距離だと思います。	これまでの統合校では、日傘の使用や首を冷やすグッズ、スポーツドリンクの携帯を認めている学校もあります。また、市内で2km近く歩いて通学している児童がいる学校や他都市で行っている対策を取り入れられるように検討していきます。例えば、ウォータークーラーを設置して下校時に水筒に水を補給できるようにすることや、登下校時の時間の調整する、といった対策を行っている都市もあると聞いています。 また、交通安全対策については、警察や土木事務所など関係機関と連携し、必要に応じて新たな整備をするなど、安全に通学ができるような対策を検討していきます。
3	○通学距離だけでなく時間について、小学校1年生が、ランドセルと一日分の水筒、タブレットパソコン等を持って、さらに日傘まで差して、40分や45分間かけて、この酷暑の中で歩くというのは、医学的に安全なのでしょうか。これは病院などに確認を取ってあるのでしょうか。  ○これから先の夏の気温を、気象庁などに聞いていただきたいです。朝の45分間と、午後2時から4時までのまだ暑い時間帯に外出することの危険性についても、小児科などに問い合わせてください。	当然ながら、統合前の通学距離と比べると伸びることもあります。また、昨今の気象状況によって猛暑日を記録する日が増えている中、熱中症に対するご心配がより強くなることはもっともだと思います。安心して通学していただけるよう、他校や他都市で行っている熱中症対策を参考にしながら検討していきます。
4	○現在登下校で使用している森孝中学校の北側通用門の	通学路は、最終的に学校が決めるのですが、例えば、香流川沿いの緑陰歩

	<p>周辺は、歩道も狭く歩行者や自転車の通行量も多いので、危険だと思います。</p> <p>○3小学校が統合し中学校が併設となると、毎朝500人くらいの子どもたちが3方向から登校することになり、 笹島小中学校とは全く規模が違うので参考にならないと思います。</p>	<p>道を利用し、南門から上下校することも含め、道路・交通の状況や周辺環境なども踏まえて、子どもたちが安全に通学できるような通学路を検討していきたいと考えています。</p>
5	<p>○森孝東学区から本地丘小に行かなければいけない意味が分かりません。通っていれば慣れるということですが、慣れる前に何か事故や事件があったらどうするのですか。そもそも本地丘小に通うのは、数年後に森孝中の場所に通うようになるのなら、その慣れは無駄だと思います。</p>	<p>新しい校舎を建設するまでの4年間、森孝東学区の子どもたちには、本地丘小の場所へ通っていただくことを想定していますが、それについては大変ご負担をおかけします。しかし、小学校はどちらの場所でも教育活動を支障なく行えると考えられます。一方で、中学校の教育活動としては、森孝東小より本地丘小の運動場が狭いため、支障がより大きくなると考えられます。これらのことから、森孝東小の場所を森孝中の仮校舎したいと考えていますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>通学については、これまでの統合校では、通学支援員を配置し、通学に慣れるまでの一定期間、子どもたちと一緒に登校する等の対応をしており、安全な通学にも配慮していきたいと考えています。</p>
6	<p>○最近は、ゲリラ豪雨など視界が悪くなるくらいの雨が降り、道路が渡りにくかったり、雨宿りをする場所も無かったりします。お店の駐車場の出入り口になっている場所では、車が入ってきて、危ないこともあります。暑さだけでなく異常気象が増えてきているので、その点でも安全に歩ける通学路を考えてもらいたいと思います。</p>	<p>学校では、気象予測をインターネットなどで確認して、危険がありそうな場合には、下校時間をずらして、メール配信でお知らせする対応をするなどしています。また、道路の浸水のといったご心配に対しても、ハザードマップなどで確認しながら対応することが必要だと考えています。</p>
7	<p>○通学路にある店舗前の喫煙所の副流煙がとても気になっています。通学路を変えてほしいと要望しても、安全だからと変えてもらえないこともあると思いますので、そういうところも配慮してもらえるとよいです。</p>	<p>通学路を変えるという方策の一方で、店舗に依頼するという方策もありますので、統合が決まった際には、そういったご意見があったということできちんと働きかけ等をしていきたいと考えています。</p>

## ⑦ 今後のスケジュールについて

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
----	---------	-----------

1	○統合に向けて5つのステップがあるとのことですが、現在はどの段階でしょうか。	統合するまでの流れとしては、①個別プランの作成、②審議会への諮詢・答申、③保護者・地域への説明・協議、④統合等の決定、⑤新しい学校づくり、と5つのステップで取り組みを進めていきます。現在は、ステップ①個別プランを作成するために、保護者や地域の皆様からご意見等をいただいている状況です。必要に応じて、資料を配布しご意見を伺ったり、今回のような意見交換会を開催させていただいたりして、皆様の心配事が解消されるよう努めています。
2	○工事期間中、森孝中の生徒だけでなく、本地丘小と森孝東小の児童も森孝東小の場所で一緒に生活するのは、規模的に難しいのでしょうか。	森孝中は現在9クラス、小学校は森孝東と本地丘を合わせて通常学級で7クラスとなり、今の森孝東小の校舎で小学校と中学校を収めることができません。仮に運動場に仮設校舎を作つて、そこで生活する場合は、運動場の確保がさらに困難になります。子どもたちに可能な限り支障なく学校生活を送ってほしいということを考えると、工事期間中は、森孝東小の場所で一緒に生活するのではなく、小学校と中学校を別々に配置した方がよいと考えています。
3	○いつまでに統合決定した場合にこのスケジュール進んでいくのか、デッドラインを知りたいです。また、もしもそのデッドラインまでに統合決定できなかった場合、ずっとこういう意見交換会をやっていくのか、どうなっていくのでしょうか。	令和8年度当初までに統合決定できれば、このスケジュールで進められるのではないかと考えています。もしもお示ししたスケジュールから変えざるを得ないことがあれば、改めて皆様にお示しし、丁寧にご説明していきます。

## ○ その他

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	○小学校が統合されて小学校が無くなった街は寂れるのではないかでしょうか。小学校を失った地域には、子育て世代が簡単には移ってこなくなると思います。	これまでの統合校の事例では、学区活動については、従前と同じ学区単位で活動していただいています。統合校の児童数についても、大幅に減っている学校は特になく、統合後に学区活動が無くなつた事例もありません。
2	○小中併設になると500人分近い給食が必要となると思いますが、小学校と中学校の昼食はどのような予定を考えてていますか。	小学校については、現在と同じように自校調理での給食の提供を予定しています。そのため必要な設備を設置し、調理員も配置していきます。中学校については、現状はランチルームを設けてスクールランチを提供していますが、中学校の給食化については、統合決定後に、保護者の皆様や関連する方々にアンケート等によりご意見をいただきながら検討したいと考えています。
3	○トワイライトスクールの子どもたちは、運動場もサブグラウンドも使えないのですか。	トワイライトスクールで運動場などをどのように使用するかについては、施設運営の中で検討していくことになります。現状で運動場を使用しているので

		あれば、学校づくりの検討の中でトワイライトスクールと調整していきたいと考えています。
4	○サブグラウンドの一角に学童を設けることも可能ですか。	ご意見については、学童保育を所管する部局にお伝えします。
5	○先生の多忙化が叫ばれるようになっている中、学校規模を大きくすることによって先生の業務がさらに忙しくなるのではないでしょうか。学校規模が小さい方が先生の業務としてはよいのではないでしょうか。	<p>子どもの人数が多かろうと少なかろうと、学校が担う仕事量としては変わらず同じだけあります。</p> <p>教員数が少ない学校では、一人で複数の仕事を兼ねて行う必要があります。そのため、教員一人当たりの負担は、適正規模の学校と比較すると、小規模校の方が大きい面があると考えています。また、学校運営の面から見ると、教員の経験年数や男女比のバランスがよい学校が、子どもたちにとっては一番望ましい状態であると考えています。ところが、小規模校になると、そのバランスがうまく取れないことが起こる可能性が高くなってしまいます。</p> <p>小規模校の方が、目が届いて良いというご意見があることも理解していますが、一定の学校規模があり、一定数の教員がいれば、皆で協力・分担しながら学校運営を進めることができますため、子どもたちと向き合う時間を確保することに繋がっていくと考えています。</p>
6	○令和2年1月から2月にかけて、3小学校統合に関する提案が教育委員会からなされた時の説明資料には、3小学校を中学校の場所で統合し、小中一貫教育校をつくることが明確に書かれています。ところが、小中一貫校に関しての話がいつの間にか消えて、ただ施設の併設だけが残るという状況になっています。提案の中心を占める部分を変更したにも関わらず、それに対する説明が一切行われず、なぜそうなったのかについて全く分かりません。	<p>令和2年に、3小学校の統合について、森孝中の敷地で小学校と中学校が同じ建物の中で学校運営を行う案をお示しし、小中学校が同じ教育目標のもと9年間を見通した教育課程や指導方法による学校運営を小中一貫校として進めたいとご説明しました。</p> <p>しかしながら、現在のところ、教育委員会としての小中一貫校の設置についての方針・方向性が明確になっておらず、保護者や地域の皆様に小中一貫校としてどのような学校をつくっていくという説明ができません。そのため、同じ敷地の同じ校舎の中で小学校と中学校が別々に運営を行う併設校という表現に変えさせていただきました。このような形での説明になってしまい、重ね重ね保護者や地域の皆様にはご心配をお掛けして大変申し訳ないと思っています。</p>
7	○統合に関する方針が変わるのならば、変わる部分について広く通知して、議論を重ねた上で進めるのであれば話は別ですが、令和4年に公開質問状を教育長宛てに提出し、文書でも回答をもらっているにもかかわらず、最	現在はステップ1の、教育委員会が十分な事前調査を行い、対象校ごとに具体的な取り組みプランを作成する段階であり、今回の意見交換会は、そのためには皆様からご意見等をお聞きする機会として開催しています。令和2年当時のご説明から小中併設校という表現に変えさせていただいた案となっておりま

	初の提案を次々と変えていく事が認められるのだったら、このように皆を集めて議論する必要はない。	ですが、教育委員会としては、このプランで次の段階へ進んでいきたいと考えています。
8	<p>○ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画だけを見てこの統合プランを練られているのですか。</p> <p>○この具体的な資料が、ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画のどこに書いてあるのですか。子どもに一つ一つ示してあげられるように、ここ的内容はここが根拠だと示してください。あなた達の考えていることに根拠があるのですか。</p>	<p>今回お示ししている3小学校の統合と中学校との併設を進めるプランは、ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画に基づいています。その際には、名古屋市におけるその他の計画や方針をうけてプランを策定しています。</p> <p>現在は計画の中のステップ1にあたる、教育委員会が十分な事前調査を行い、対象校ごとに具体的な取り組みプランを作成する段階であり、今回の資料はそのプラン作成に向けての統合案です。</p>
9	○少子化に向けて名古屋市が全国に先駆けて、学級規模の基準を30人学級にするといった新たな基準を、文科省に先駆けて行っていくような強い意志はないですか。ぜひそのような形で少子化対策、それに対する責任もった教育をこれから考えていってほしいです。	ご意見として承ります。
10	○行政区や市政を越えた形での教育、通学区域の検討はできないでしょうか。	<p>現在お示ししている統合案では、小学校と中学校の児童生徒を合わせると500人程度の規模になると想定しており、統合後も望ましい学校規模を維持できると考えています。そのため、今回の統合では近隣の行政区をまたぐような統合の検討は必要ないと考えています。</p> <p>なお、教育施策については、市町村ごとの考え方に基づき、運営予算や校舎整備、教職員の配置等が行われていることもあります。現時点で市外の学校との連携については想定していません。</p>
11	○第20回小中一貫教育全国サミットin吳への、市教委及び関係審議会メンバーの出席状況、参加人数・所属、並びに当該サミットから得られた知見をどのように反映しているか。	担当部署に確認したところ、出席した者はいないとのことです。
12	○横浜市教育委員会の「小・中学校施設計画指針（2019年改訂版）」を参考事例として検討し、これに相当する「教育施設整備指針」等の策定・公表を検討いただきたい。	ご意見として承ります。
13	○本統合案の決定にあたり、教育委員会・市長・市議会のそれぞれの役割について、「教育委員会の専権事項」と	学校の設置や廃止は教育委員会の職務権限であり、学校規模の適正化に伴う統合は「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」に基づき、教育委員会が主体

	の説明が法令上どのように位置づけられるのか、また、市議会の関与・承認の要否を説明いただきたい。	性を持って進め、教育委員会が決定します。なお、計画策定にあたっては、市長や市議会へ計画内容についてご意見をいただき、さらにパブリックコメントを行ったうえで策定しています。
14	○橘小学校建て替えにおける仮設校舎運用について、2025 夏期（7～8月）における児童および保護者からの声（暑さ、環境、通学負担、安全確保など）をどのように収集・分析されたか。アンケート結果や自由記述など具体的な内容があれば併せてご教示いただきたい。	現在、仮設校舎を建設中のため、ございません。
15	○仮設校舎を用いた移行期間中の児童環境（特に暑熱対策・安全対策・通学ルート）について、明確な基準・指標・実証データを設けているか。存在する場合は、その基準名・内容・適用実績をお知らせいただきたい。	想定いただいているような明確な基準等は定めていません。なお、空調機器については現在の教室に設置されているものと同等の機能を有するものを設置しています。